

1946年7月→1958年8月
石見タイムズ 復刻版
 全11巻+別巻1 **《限定60部》**

【復刻版刊行概要】

- 体裁 A3判・上製・総約4,000頁（別巻A4判・上製）
- 巻数 全11巻+別巻1
- 別巻 別題・回想・詳細記事見出し
- 解題 吉田豊明（ジャーナリスト）「伝説の地方紙 石見タイムズ」のこと
- 井上厚史（島根県立大学教授）「オーティス・ケリーと戦後民主主義」
- 道面雅量（中国新聞記者）「小島清文と青い鳥を探す会」
- 小島清文「石見タイムズ物語」
- 山崎克彦「石見タイムズと小島清友社長」
- 有山輝雄（メディア史研究者）
- 内海愛子（恵泉女子園大学名誉教授）
- 庄司俊作（同志社大学人文科学研究所教授）
- 竹永三男（島根大学法文学部教授）

●原本提供 浜田市立中央図書館

関連図書

1943年5月→1952年7月
月刊読売 復刻版
 全27巻
 各巻18,000円+税

- ◎解題 石川 巧
- ◎推薦 阪本博志・土屋礼子
 坪井秀人・成田龍一

絶賛発売中!! ★内容見本進呈

●表示はすべて税別

●刊行予定

第1回配本 2014年12月刊行	第1巻	1946・1947・1948年版 320頁（『浜田新聞』を含む）	全3巻 90,000円+税 ISBN 978-4-908147-05-0
	第2巻	1949年版 224頁	
	第3巻	1950年版 308頁	
第2回配本 2015年5月刊行	第4巻	1951年版 320頁	全3巻 90,000円+税 ISBN 978-4-908147-09-8
	第5巻	1952年版 350頁	
	第6巻	1953年版 312頁	
第3回配本 2015年12月刊行	第7巻	1954年版 350頁	全3巻 90,000円+税 ISBN 978-4-908147-13-5
	第8巻	1955年版 312頁	
	第9巻	1956年版 410頁	
第4回配本 2016年5月刊行	第10巻	1957年版 412頁	全3巻 90,000円+税 ISBN 978-4-908147-17-3
	第11巻	1958年版 280頁	
	別巻	解題・回想・詳細記事見出し	

※全11巻+別巻 揃価格 本体360,000円+税

石見タイムズ支局・通信部所在地



※右記の他に東京と松江に通信部を設置していた。

本資料の対象研究領域

メディア史・近現代史・戦後教育史・戦後社会経済史・地域研究

三人社

〒606-8316
 京都市左京区吉田2本松町4 白亜荘
 電話 075-762-0368
 FAX 075-762-0369
 振替 00960-1-282564

※図書館様・書店様へ
 小社は少数出版のため取次口座はございません。ご注文は直接上記までお申し込みください。

伝説の地方紙

石見タイムズ

復刻版

1946年7月（創刊号）→1958年8月（599号）（含 浜田新聞）

戦後混乱期、農山村や漁村は
 いかなる復興を遂げたのか
 市民の市政参加や教育・福祉の充実
 男女同権や反戦平和など
 高い理想を掲げた小新聞を通して
 山陰の辺境の行政と文化
 そして人々の生活の足取りを検証する。

- ◎解題 吉田豊明・井上厚史・道面雅量
- ◎体裁 A3判・上製・総約4,000頁
- ◎第1回配本 全3巻 90,000円+税

2014年12月刊行開始



三人社

松江軍政部司令官よりメッセーヂ

28 June 1947

To: Iwami Times
An edition of your paper is at hand and I find it very interesting.
Of all the things Japan needs, probably the news-papers should come first. Nothing can be more helpful to a democratic country than a free, independent, courageous press. A paper that does not meet these requirements is almost useless. I sincerely hope you will furnish the news to your patrons in this manner.
Good luck
CLAYTON L. MAUSER
Lt. Col.,
Commanding

貴紙の発刊を間近に控え、私は非常に興味深く思っている。
日本が必要とする凡ゆるものうち、新聞がその第一位に位置することは確実である。良士の國家にとつて自由な、獨立した勇敢な新聞ほど役に立たない。無益で、提供されることを切に祈つて止まない。
松江軍政部司令官
一九四七年六月二十八日

石見タイムズ
濱田新聞改題
発行所 鳥根兼雄
支局 本紙

社説

改題にのぞみ

即ち今日の新聞には、日刊新聞までが、低俗なものになることは墮落である。
新聞が存して居るが、この頃になつて紙事情の饑饉、たとえ世論に抗して、新聞を出版せねばならぬ。
新聞は、月何回か、新聞でも出版せねばならぬ。
新聞は、月何回か、新聞でも出版せねばならぬ。
新聞は、月何回か、新聞でも出版せねばならぬ。

濱田市の機構改革と豫想される課長級の顔觸れ

去る廿一日に行われた第二回濱田市議會協議會の結果、岡本市農林課長に大辻氏は誰もうなずかれ、厚生課長として、厚生課長と、市役所事務の改革を考慮し、この如く機構改革を計るため、市役所事務の改革を計るため、市役所事務の改革を計るため。

濱田追加豫算 異議なく承認可決

濱田追加豫算は、濱田市では二十二年度追加豫算に於いて、濱田市では二十二年度追加豫算に於いて、濱田市では二十二年度追加豫算に於いて。

鳥根縣知事より祝電

石見タイムズの創刊を祝し、濱田市の発展を祈る。
鳥根縣知事 原夫太郎

Table with 2 columns: 記事名 (Article Title) and 種別 (Category). Includes items like '濱田追加豫算', '市會傍聴席', '濱田市の機構改革', '濱田追加豫算', '鳥根縣知事より祝電', '濱田追加豫算', '市會傍聴席', '濱田市の機構改革', '濱田追加豫算', '鳥根縣知事より祝電'.

災害復舊延長

十數名上京か
十八年度下、復舊工事は、復舊工事、復舊工事、復舊工事。

祝石見タイムズ發刊

祝電
濱田市會議員
濱田市會議員

祝電

祝電
濱田市會議員
濱田市會議員

濱田市役所
市長 岡本俊人
助役 棟末豊文
濱田市會議員
原夫次郎
中崎敏

濱田市會議員
濱田市會議員
濱田市會議員

濱田市會議員
濱田市會議員
濱田市會議員

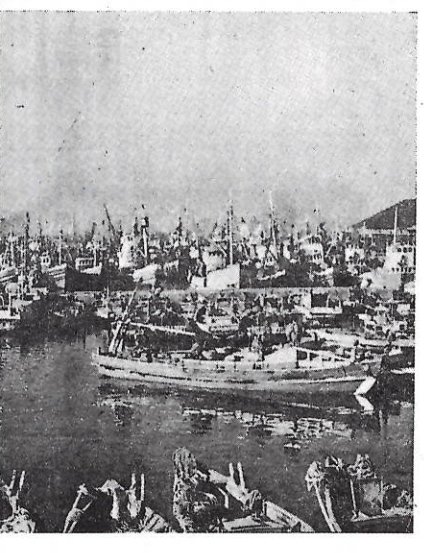
濱田市會議員
濱田市會議員
濱田市會議員

濱田市會議員
濱田市會議員
濱田市會議員

濱田市會議員
濱田市會議員
濱田市會議員



希望に輝く港浜田



往在往し、その赤銅色の肌は、腰を双肩になつたこれ等各種の漁獲物に輝き、船は新羅を浴び、潮風を胸に、この港に輝き、静かに待機して、約三十億、その金の姿勢をまつた。静かに待機して、約三十億、その金の姿勢をまつた。静かに待機して、約三十億、その金の姿勢をまつた。

50万円以上は82名

吹いて来た税金旋風

Table with columns for names and amounts, listing various individuals and their respective tax-related figures.

寄稿

日本の若い者

筆者は、戦時中ハライの日本人捕虜收容所情報として多くの日本人と接し、戦後同志社大の教授に赴任、一年後日本へ戻り、戦後同志社大の国際キリスト教大建設に奔走中で、再び再度来日するが、本号から掲載する「日本の若い者」はこの一人の見聞の日本と日本人のあり、特に親交の厚い本社小嶋主筆の為に、これが掲載を許可されたものである。

棟方君の画業

Article about the artist Takeda Jun, including a portrait illustration and text discussing his work and artistic style.

教育・福祉

教員の責任だ

環境論に賛否両説
既報の如く浜田高等学校は、警察予備隊を旧兵舎に設置することを、学内教育界を震動させた。環境論に賛否両説、環境論に賛否両説、環境論に賛否両説。

五日から児童福祉週間

本社「子供祭」浜田で開く
開会式 五月五日(金) 午前九時
一日時 五月六日(土) 午後七時

文化・芸術

小説放浪の親鸞

小笠原秀彦作
歸去来(四)
釋迦は、弟子が間違っているか、戒律を破るか、愛欲に任つて猿を淫する者のいのちを、女が浴槽に溺れ、戒律が生れ、釋迦を憂うつた。

郷土の生んだ偉材

抱月とその家族
抱月(抱月)は、本名山田太郎と云う、山田太郎と云う、山田太郎と云う、山田太郎と云う。

女性・人権

女性はいかに考える

紙上座談会出席(順序不同)
山田太郎(56)婦人協議会会長
山田太郎(56)婦人協議会会長
山田太郎(56)婦人協議会会長

戦争は絶対いや!

朝鮮の兵火を見つめ
戦争は、平和か、二十五日未明に物に當面するに及ぶ、文化日本の再興、朝鮮の兵火を見つめ、戦争は、平和か、二十五日未明に物に當面するに及ぶ。

社会・スポーツ

殺自戀悲の女

何が彼女を
「さうさせたか」
六月十二日、朝、彼女は川本君が、六月十二日、朝、彼女は川本君が、六月十二日、朝、彼女は川本君が。

東西の強豪は誰ぞ!

原爆許すまじ
益田市で発会式
原水爆禁止益田市協議会、各支部で今月中旬に審議決定本部へ報告、四月六日(予定)県連大会を開催